

福井鉄道福武線に係る地域公共交通総合連携計画について

● 経緯

・福井鉄道福武線の支援スキーム

県・沿線三市・名古屋鉄道・福井鉄道等で構成する福井鉄道福武線協議会において福井鉄道福武線の再建方向を確認

支援スキームの内容

1 累積債務の圧縮方法

福井鉄道の抱える累積債務を、名鉄および行政の支援により極力圧縮するとともに、金融機関の協力を得て、健全な財務状況に戻していく。

債務		対応策	
福井銀行	約22億円	資産取得	約12億円
福邦銀行	約4億円	名古屋鉄道による増資	約10億円
中小企業金融公庫等	約2億円	鉄道債権の償却 (財産処分等)	約6億円
計	約28億円	計	約28億円

沿線三市が
鉄道用地を
取得

↓
鉄道事業再構築事業で位置づけが必要

2 将来10年間の経費負担の考え方

福武線の存続を図るため、地域鉄道に対する国の支援の動向やえちぜん鉄道の存続スキーム等も踏まえ、県と沿線3市で支援内容と負担のあり方を検討。

項目	支援額
設備更新関係 (国庫約10億円を含まず)	約21億円
維持修繕関係	約12億円

→ 国庫分は鉄道事業再構築事業を活用

・福井鉄道福武線活性化連携協議会の設置

上記支援スキーム及び福井鉄道の再生と活性化の取り組みを円滑確実に実施するため「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき沿線三市が、事業者や沿線住民と一体となり、地域交通総合連携計画を策定するための法定協議会として設置した。

● 地域公共交通総合連携計画とは

